

特集 II

糖をエネルギーに代謝し、
体に貯蓄しない シクロケムR- α -リポ酸とCoQ10

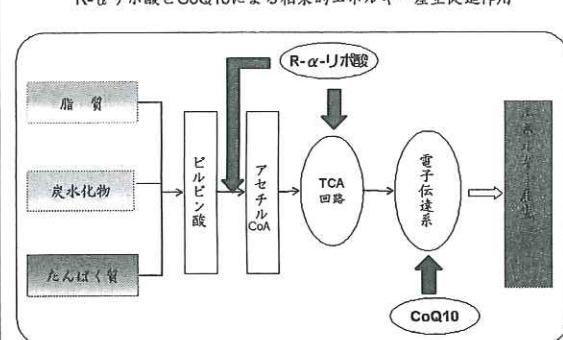
シクロケム(東京都中央区、☎03-5561-47147)は、「R- α -リポ酸」と「CoQ10包接体」と「CoQ10包接体」を併用摂取することで両素材が効果的に働き、食事で摂取した糖がエネルギーに代謝されるのを促進する効果を持つことを確認している。

糖代謝がスムーズに行われエネルギーに変わることで余分な脂質を体内に蓄えなくて済む。また持久力の増加にも繋がる。

通常、食事で摂取されたブドウ糖は解糖系で代謝されピルビン酸を生成する。ピルビン酸はアセチルCoAに変換され、クエン酸回路、電子伝達系を経て生体エネルギーのATPに誘導される。

この際、ピルビン酸からアセチルCoAへのスムーズな変換のため重要な補酵素がR- α リポ酸であることが知られている。一方、電子

伝達系でCoQ10が補酵素として働くことで糖はスムーズにエネルギーへと変換される。そのため、R- α -リポ酸やCoQ10が生体内で十分に生合成されていない場合、糖代謝がうまくいかず、糖尿病や肥満、他の生活習慣病のリスクが高まる。



R- α -リポ酸とCoQ10による相乗的エネルギー産生促進作用

この際、ピルビン酸からアセチルCoAへのスムーズな変換のため重要な補酵素がR- α リポ酸であることが知られている。一方、電子

エネルギーの変換反応を促進するが、S体はこの反応を阻害する為、ラセミ体ではその効果は低い。しかし、シクロケムがR体のみでの製品化が可能になった。さうに包接化の利点はこれだけではない。アリボ酸が食後に摂取すると吸収されづらく、CoQ10は食前に摂取すると吸収されづいため同時摂取が難しいという問題も、両素材を包接化することで吸収性を高め、同時に摂取を可能にしてい